



周囲の大人が一丸となり 市教育委員会

教育 子どもの 生きる力を育む

市教育委員会では、教育振興基本計画後期実行計画（平成29～32年度）の中で、「学校図書館の充実」や「家庭教育支援の充実」を重要な取り組みと位置付け、読書活動を推進しています。

読書は、言葉を理解する力や読解力を身に付けるだけでなく、豊かな感性や創造力を育み、表現力を高める上で欠くことができないものです。読書離れが指摘されている昨今、学校・家庭・地域が連携し、子どもの読書習慣を推進することが求められています。

子どもたちが自分らしく学び続けることができる環境を整え、生きる力を育成するため、周囲の大人が一丸となって、子どもたちをサポートしましょう。

多様な活用に対応 学校図書館

どの学校にもある図書室は、正式には「学校図書館」といいます。

いままでの学校図書館の役割

「読書センター」(児童・生徒の読書活動の場)



これから求められる役割

「学習センター」(授業内容の理解を深める場)

「情報センター」(情報収集・活用能力の育成を目指す場)

子どもたちが
行きたくするような
学校図書館を
目指します!



子どもたちの
主体的な学びの
場となるよう
環境整備を
推進します!

学校図書館の環境を整備 子どもたちの学びの場に

図教育指導課
☎70・5660

るよう、家庭でのサポートをお願ひします。

子どもの学習を支援 学校司書の配置

子どもたちの学校図書館利用をさらに促進するため「学校図書館学校司書」を市内小・中学校の各校へ1人配置しました。

学校司書は図書委員会の子どもたちへの支援、図書館だよりの発行、学校図書館の使い方の指導など子ども

読書で育む豊かな心 子どもの読書活動を支援

図生涯学習課
☎70・5658

もたちの学習を支援するほか、図書館担当教員のサポートを行い、学校図書館の円滑な運営も支援しています。

図書情報をデータベース化
蔵書管理システムを導入

各学校の図書館に蔵書管理システムを導入し、学校図書館にある蔵書を全てデータベース化しています。

図書の貸し出し・返却処理を、図書に貼り付けてあるバーコードで管理できるようにするほか、蔵書検索も簡単にできるようにしています。

絵本ふれあい事業 読み聞かせ講座の開催

心と成長に望ましい生活習慣の定着を目指す取り組みです。

市内保育所・幼稚園・子育て支援センターへ絵本を配布し、施設内での読み聞かせや家庭への貸し出しを通じて、読み聞かせの推進と読書習慣の定着を図る「絵本ふれあい事業」を実施しています。同センターと2か所のサロン室では、乳幼児と保護者を対象に、毎月、絵本の読み聞かせの方法や大切さを学ぶ講座を開催しています。



4〜5か月児に絵本を配布 ブックスタート事業

4〜5か月児健診の際、親子1組ごとに4冊の絵本を読み聞かせし、その中の1冊を配布しています。赤ちゃんにお勧めの絵本を掲載したブックリストや市立図書館の利用案内などもセットにしています。

新小学1年生に本を配布 セカンドブック事業

新小学1年生に本を配布しています。4月に学校を通じて、5冊の本の中から1冊を選んでもらい、7月に、選んだ本と小学生にお勧めの本を掲載したブックリストと一緒に渡しています。

子どもの感受性や想像力を育てるには、乳幼児期から、読み聞かせによる語りのリズムや目に映る絵本の映像にふれることが重要です。市教育委員会では、昨年4月に策定した「第2次市子ども読書活動推進計画」に基づき、あやせゼロの日運動や絵本とふれあう事業などを行うことで、乳児期から就学時まで、切れ目なく読書に親しむ環境整備を推進しています。

子どもの読書習慣を定着させるためには、周囲の大人による働きかけも大切です。絵本の読み聞かせをしたり、読んだ本の感想を話し合ったり、親子と一緒に読書を楽しみましょう。

